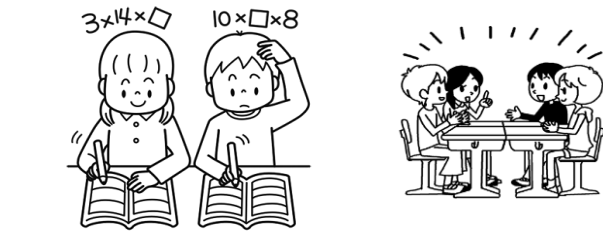
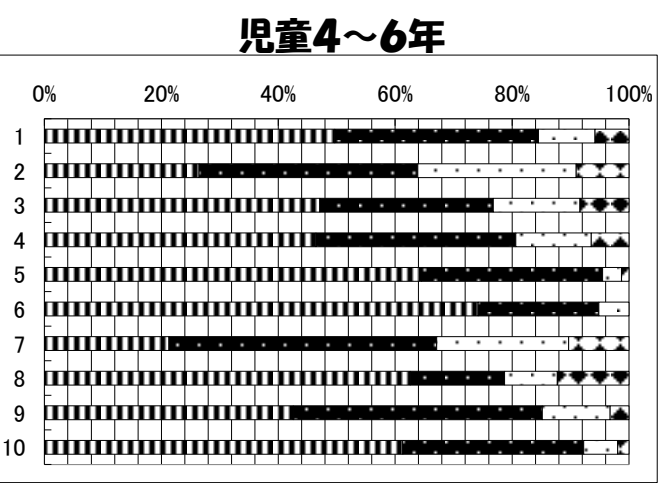
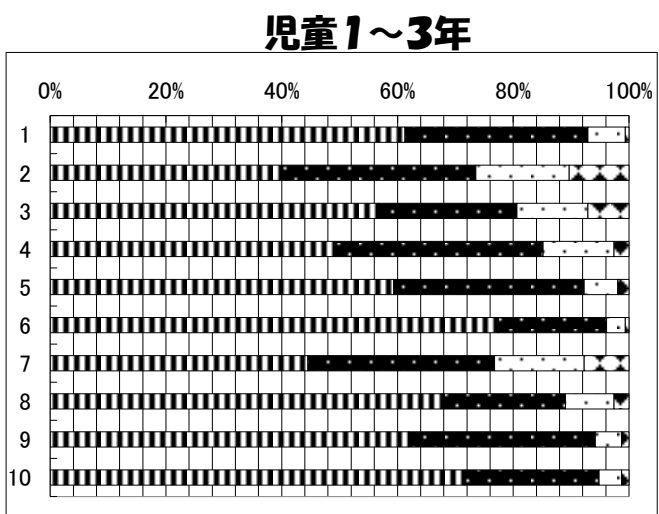
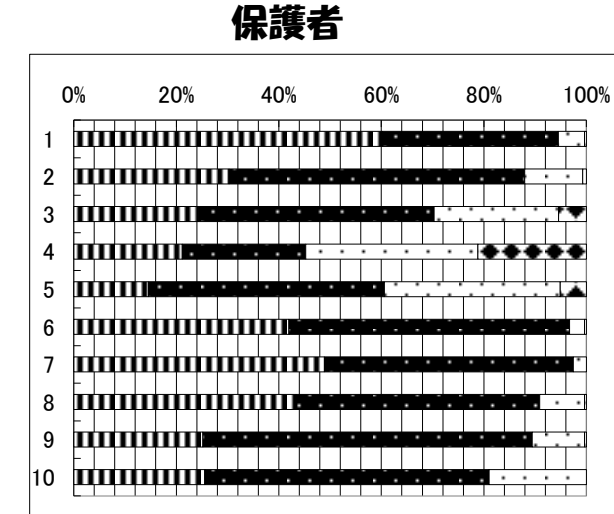
	そう思う	アンケート項目(児童)
		1 学校は楽しい。
		2 家では自分から進んで学習している。
		3 本を読むことが好き。
		4 自分から進んで挨拶をしている。
		5 学校や学級の約束やルールを守っている。
		6 友だちと仲よくしている。
		7 自分にはよいところがあり、好きだと思っている。
		8 将来の夢や目標がある。
		9 自分は地域の人たちに大切にされていると感じる。
		10 自分の住んでいる「醍醐のまち」のことが好き。
	大体そう思う	
	あまりそう思わない	
	そう思わない	



	アンケート項目(保護者)
1	子どもは楽しく学校に行っている。
2	子どもは基礎学力が身についている。
3	子どもは家庭学習が習慣化している。
4	子どもに読書の習慣が身に付いている。
5	子どもは自分から進んで挨拶をしている。
6	子どもは学校のきまりや約束を守っている。
7	子どもは友だちを思いやり、仲よくしている。
8	子どもは早寝早起き朝ごはんを心がけている。
9	子どものよいところを伸ばしたりほめたりしている。
10	子どもに将来の夢や目標をもたせるよう働きかけている。



「**特別の教科 道徳**」について
来年度から教科化される『特別の教科 道徳』についてお話をさせていただきました。

①検定教科書の導入
内容は、今の時代に即したもので、考えやす いものとなっている。

②評価の発生
数値で表すものではなく、記述式による。

③4つの内容項目
A・自分自身に関すること
B・人とかかわりに関すること
C・集団と社会とかかわりに関すること
D・生命や自然・崇高なものとかかわりに関すること



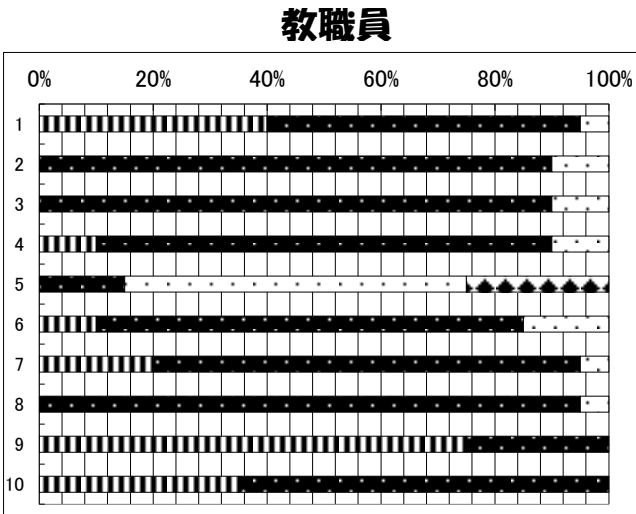
学校長より

＜ハッピーボックスの取組＞
・子どもたちが校長室前の「ハッピーボックス」に、自分のうれしかったことや友達うれしかったことを用紙に書いて、入れ、それを給食時間の「ハッピータイム」に紹介している。

・自分のうれしかったことや友達のうれしかったことなどを分かち合い、人の喜びや悲しみに共感し合える子どもに育てていきたい。

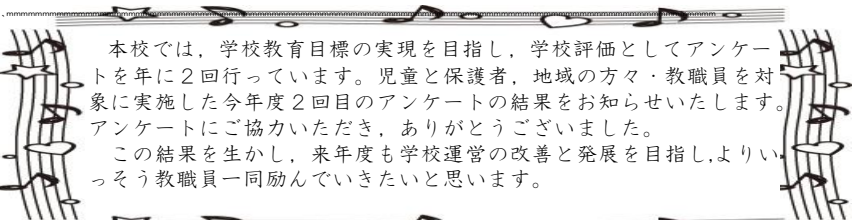


	アンケート項目(教職員)
1	子どもは楽しく学校生活を送っている。
2	子どもは基礎学力が身についている。
3	子どもは家庭学習の習慣が身についている。
4	子どもは読書の習慣が身についている。
5	子どもは自分から進んで挨拶をしている。
6	子どもは学校や学級のきまりや約束を守っている。
7	子どもは友だちを思いやり、仲よくしている。
8	子どもは早寝早起き朝ごはんを心がけている。
9	子どもは地域の人たちに大切にされている。
10	子どもは「醍醐のまち」を好きだと思っている。

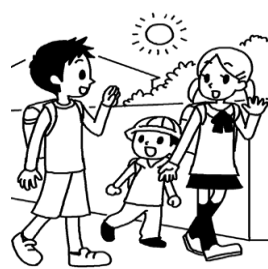


～地域を愛し、誇りに思う子どもを育てる～

学校評価から低学年・高学年ともに、ほとんどの子どもたちは「醍醐のまちが好き」「地域の人たちに大切にされている」と思っています。これはとても素晴らしいことです。見守り隊やPTAの方々をはじめ、多くの地域の方々が、子どもたちを日々あたたかく見守っていただいているおかげだと感謝しています。今後も引き続きよろしくお願いいたします。



本校では、学校教育目標の実現を目指し、学校評価としてアンケートを年に2回行っています。児童と保護者、地域の方々・教職員を対象に実施した今年度2回目のアンケートの結果をお知らせいたします。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。この結果を生かし、来年度も学校運営の改善と発展を目指し、よりいっそう教職員一同励んでいきたいと思っています。



アンケート項目(地域)

1	醍醐の子どもは自分から進んで挨拶をしている。
2	醍醐の子どもは学校や社会のきまりや約束を守っている。
3	醍醐の子どもは他人を思いやり、仲よくしている。
4	醍醐の子どもは地域行事に積極的に参加している。
5	学校だよりやホームページで学校の様子が伝わっている。
6	学校は質問や相談しやすい雰囲気がある。